



上下水道だより

2026
下水道事業財政状況
特集号

令和8年3月発行
佐賀市上下水道局
佐賀市若宮三丁目6番60号
TEL(0952)33-1330
FAX(0952)33-1315



▲下水浄化センター(佐賀市西与賀町)
稼働から47年が経過し老朽化が進行しています

特集 下水道事業の厳しい財政状況をお知らせします

私たちの快適な暮らしに欠かせない下水道は、皆さまにお支払いいただく“下水道使用料”によって支えられています。

佐賀市では、昭和53年の開始以来、都市化の進展や市町村合併に合わせて整備拡張を続け、平成30年に計画的な整備事業を完了しました。

現在は、管路や処理施設の維持管理を行いながら、施設の老朽化対策や耐震化など“安全・安心のための事業”を進めていますが、今後は人口減少等により下水道使用料収入の減少が見込まれ、厳しい財政状況が予想されます。

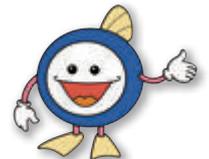
本特集号では、下水道事業の財政状況と経営改善の取組をお知らせします。



▲令和6年能登半島地震により
浮上したマンホール・管路

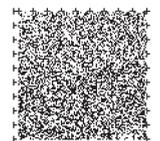


▲汚水から発生する硫化水素の影響により
腐食した下水道管内部



下水道マスコットキャラクター
「スイスイ」

Uni-Voice



▲Uni-Voiceアプリを使うと
音声で聞くことができます



財政状況

収益的収支（収益と費用）



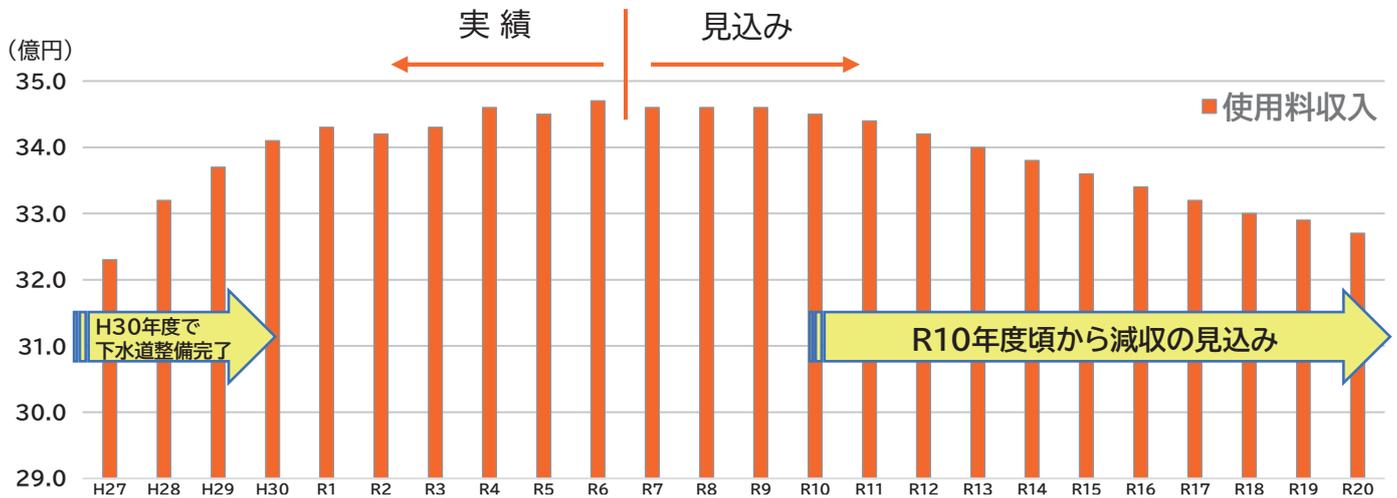
収益は減少し、
費用は増加する見込みです

【収益的収支】とは…

下水道使用料収入や、施設の維持管理、修繕工事などの経常的な経費のこと

<収益>	人口減少等による下水道使用料収入の減少	△ 0.1～0.2 億円／年（R10～）
<費用>	物価高騰等による物件費の増加	+ 2.68 億円／（R6～R15）

<下水道使用料収入の見込み>



資本的収支（建設改良事業）



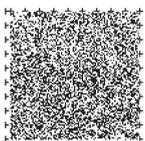
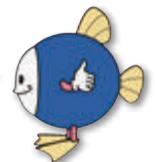
老朽化・耐震化対策に、
多額の費用が必要です

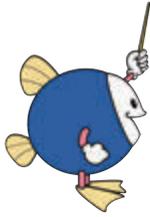
【資本的収支】とは…

借入金、国からの補助金等の収入や、施設の建設、更新などに係る経費のこと

主な事業	事業費	計画期間
計画的な施設の老朽化対策(ストックマネジメント計画)	48億円	R6～10
計画的な管路の老朽化対策(ストックマネジメント計画)	16億円	R6～10
下水道管路の耐震化	15億円	R6～10
圧送管の強靱化(重要圧送管の複線化)	25億円	R6～15

収入が減少するなか、市民の安全・安心のための
事業を進める必要があります





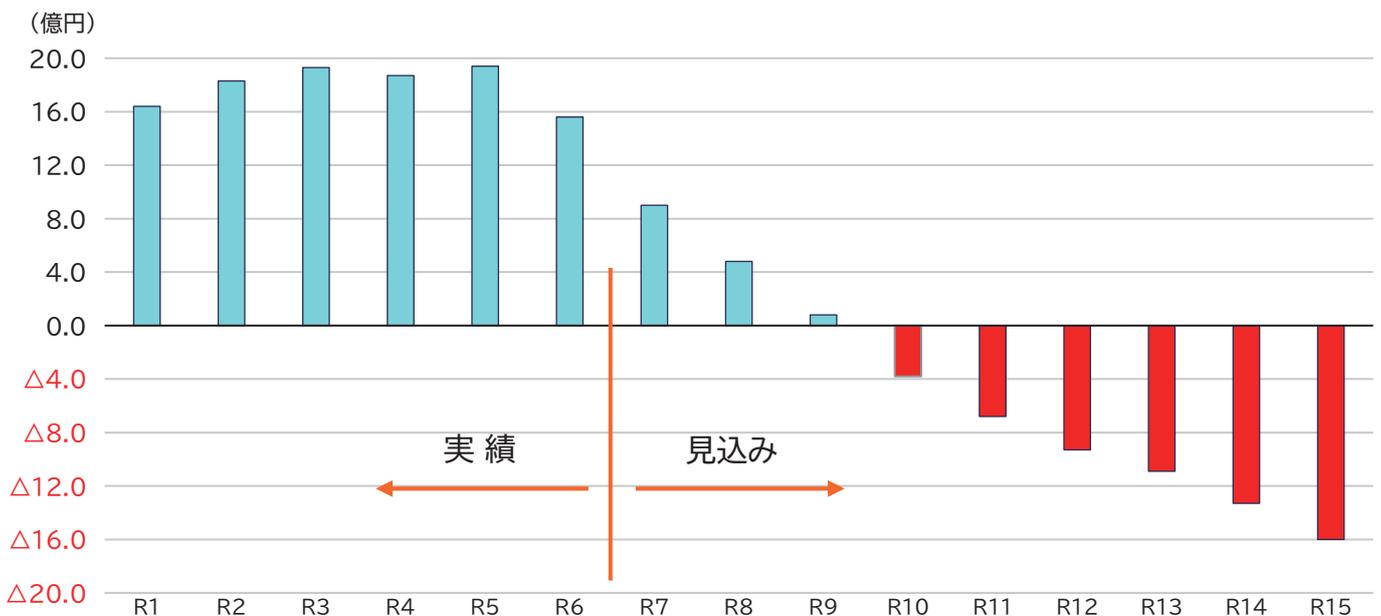
- ✔ **令和8年度**には、支出が収入を上回り、単年度の収支が赤字となる見込みです
- ✔ **令和10年度**には、資金が枯渇する見込みです

財政の状況

(単位:百万円)

	R6(決算)	R8(見込み)	R10(見込み)	R15(見込み)
収益的収入	7,964	7,860	7,945	7,952
下水道使用料	3,471	3,465	3,454	3,359
収益的支出	7,742	7,925	8,063	8,188
経費(動力費・修繕費等)	1,891	1,961	2,041	2,065
支払利息(借入金の利息)	791	764	739	720
当年度純利益	222	△ 65	△ 118	△ 236
資本的収入	4,648	5,075	4,885	3,245
企業債(借入金)	1,685	1,942	2,003	1,420
他会計補助金	1,879	1,934	1,731	1,195
国県補助金	1,051	1,111	1,065	547
資本的支出	6,947	6,884	6,619	4,775
建設改良費(施設の建設や更新の費用)	3,015	3,064	3,082	2,104
企業債償還金(借入金の元金返済)	3,930	3,819	3,537	2,671
資金残高	1,557	480	△ 298	△ 1,600

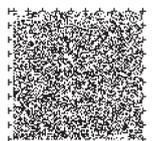
資金残高の状況



下水道に関連する事故を未然に防ぐ対策や耐震化を進めながら、借入金も返済しているため、**資金が減っています**



(c)スuisイ





経営改善

これまでの取組

安全・安心な下水道事業の**経営を持続**させるため、汚水処理費の削減と使用料収入の増加、経営基盤の強化や投資の合理化等に取り組んできました



施設の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・ エリアマップ見直しによる施設建設中止 ・ 施設の共同化 ・ 市町村合併による施設建設計画の廃止 	建設費 Δ 461.1億円 維持管理費 Δ 7.4億円 /年
組織の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 上下水道組織統合 ・ 支所再編 ・ 組織の見直し（部制の廃止） 	人件費 Δ 1.0億円 /年
その他の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 増収の取組（接続促進の強化） ・ お客様サービスの向上（スマートフォン決済 コンビニ収納） ・ 費用削減の取組（汚水処理判定の開始 管きよ設計業務の効率化） ・ 業務の効率化（窓口収納業務等の委託 下水浄化センター及びポンプ場維持管理業務の委託） ・ 資源の有効活用（消化ガス発電 下水汚泥の肥料化） 	

今後の取組

① 下水道使用料のあり方に関する検討

下水道事業の健全な経営を持続させ、市民の安全・安心のための事業を進めていくために、下水道使用料の適正化を図ります。

② スtockマネジメント計画の継続

計画的な点検・調査に基づいた修繕・改築を行うことにより、道路陥没や機械故障などのリスク低減を図り、施設の延命や費用を抑制します。

③ 汚水処理施設の統廃合

令和7年から令和15年までの9年間で統廃合を実施します。隣接した他地区と管路を接続することで処理場を廃止し、維持管理費等の削減を図ります。

④ 組織の効率化

人員の適正配置による人件費の削減を図ります。

⑤ その他

水洗化率の向上、不明水対策による有収率の向上、DXの推進、官民連携の検討などに取り組めます。



今後も市民生活に欠かせないインフラとして持続していくため、**更なる経営改善**を進めます

佐賀市上下水道事業経営審議会

「上下水道事業の経営」と「下水道使用料のあり方」について、計5回(令和6年9月～令和7年1月)にわたり、ご審議いただきました。

審議会では、下水道事業におけるこれまでの経営改善の取組、今後の事業計画、厳しい財政状況、下水道使用料の改定シミュレーションを説明し、委員の皆様からご意見をいただきました。



▲詳細はこちら

【委員からの意見(まとめ)】

上下水道局からの提示案は、市民生活に配慮した下水道使用料の改定率ではあるが、将来的な施設の大規模更新の費用は確保できない

使用料改定は必要だが、改定率は、市民への影響を考慮しつつ、今後の人口減少や施設の大規模更新も視野に入れ、検討をお願いしたい

今後も市民の安全安心のため、継続して経営改善に努め、改定に際しては市民に対し丁寧な説明をすることもあわせて意見する



▲審議会の様子

